

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都墨田区本木2-3-4
編集 電話 03-3820-3500
FAX 03-3820-3519
印刷 電話 03-3820-3511
FAX 03-3820-3518
http://www.n-mokuzai.com/
e-mail: info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2017
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

本が拓く
新たな未来
木材建材ワイワリー
Japan Lumber Reports

床と壁のバイオニア

孝和建商(株)

千葉県中央区外見町16-12
043-324-4541
http://www.kouwa.com

40~50年の森林経営委託事業開始

伊万里木材市場

国産材の長期安定供給、民有林の価値向上へ

伊万里木材市場(佐賀県伊万里市、林雅文社長)は、民有林を40~50年にわたる生産、管理していく「長期山づくり経営委託契約」事業を始めた。現在、多くの森林所有者が林業の継続を望みながらも高齢化や後継者難で悩んでいる状況に配慮し、民間企業として再造林を中心とする森林整備の事業キームを構築した。また、同事業による契約山林が複数組み合わさることで、国産材原木の長期安定供給、民有林の価値向上につながるべく、検討を始める。

事業の仕組みは、林基礎収益配当と、生産期間中の業務一切は伊万里木材市場及び協賛する地元生産業者で行う。森林所有者は、長期経営委託を行うことになり、25年を生産期間、後半の20年を育成期間と位置付け、生産期間に一定額を積み立て、育成期間には原則的に森林所有者が新たに必要と、それを実現するに費用支出なしに増進する「森林信託」の家族などから同意が必要と、それを実現するに費用支出なしに増進する「森林信託」(民事林、青林を進める。期これは家族信託(民事

地域材活用に向け新組織発足

2つの木材ブランドで拡販

愛知県豊田市

愛知県豊田市は21日、昨年9月から進めている「豊田市地域材利用拡大プロジェクト」の事業報告会を同市福祉センターで開き、地域材の活用窓口となる新組織「ウッドテラ・豊田」を設立することを明らかにした。新たな2つの木材ブランドで地域材の需要拡大を目指す方針で、4月から組織設立に向けた具体的な検討を始める。

同プロジェクトは、するために設立される「に向けて、これまで地域材の有効活用と通、もので、地域材の利用一ヶティンクを企画する正々人工林管理を促進、拡大や地産地消の実現」るワークショップを3

同実施。地域の木材流通の現状調査のほか、コンセプトやブランドインク、商品開発、推進体制などに関する議論を重ねてきた。

成熟した豊田市内の人工林の活用について、製材工場の誘致を表現し、2018年度

信託)制度を活用するもので、森林所有者に家族代表の委託者へ森林財産の継承や分配を信託してもらう。この実務面をサポートする。現時点で約200の家族などから同意が得られている。伊万里木材市場は、伊万里市に長期山づくり経営委託契約の内容を提案し、(森林経営計画策定なども含む)、家族代表の委託者とともに詳細を詰めた後、同機構が森林信託精算の実務を行う専門家の派遣、管理などを行う。まずは大分県から事業を開始しており、森林所有者に対する説明会を実施。既に約40人が契約を行う方向で進行中だ。将来は九州全域で同事業を推進し、林業の持続的経営実現に寄与していきたい考え

機構(福岡市、三綱伊佐雄代表理事)だ。森林信託では、伊万里木材市場が森林所有者に長期山づくり経営委託契約の内容を提案し、(森林経営計画策定なども含む)、家族代表の委託者とともに詳細を詰めた後、同機構が森林信託精算の実務を行う専門家の派遣、管理などを行う。まずは大分県から事業を開始しており、森林所有者に対する説明会を実施。既に約40人が契約を行う方向で進行中だ。将来は九州全域で同事業を推進し、林業の持続的経営実現に寄与していきたい考え

- 主な記事
- ▽2面 日本物産 鉄道による輸送可能性を調査
 - ▽3面 国産合板商況 受注減の消化へ
 - ▽4面 産地ブレイク 木材・産材の価格推移
 - ▽5面 本にじたる建築家 井之上節明大手前大卒業後、北摂市場 検閲機検入後入



CRAFT WOOD
born in Toyota



MAKER WOOD
made in Toyota

2つの新ブランドマーク

ラ・ウッドテラ
ラ・ウッドは、森林組合、流通業者、建築士などから任意団体として発足する予定。主に情報発信、ブランドマネジメン

別注集成材

イナズマ加工、R枠、丸柱など
特殊加工も引き受けます

(株)丸商店

本社 0746-32-2301(株)
FAX 0746-32-4030
東京 03-3521-5177(株)
FAX 03-3521-2813
大阪 06-6562-1747(株)
FAX 06-6567-1098

集成材

FSC SIOC
FSC C121393 [緑の産地] お問い合わせ下さい

TSC株式会社 ティ・エス・シー
〒692-0836 兵庫県赤松市湖沼2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusai-tsc.com

には西垣林業(奈良県被井市、西垣泰幸社長)による「豊田市中核製材工場(仮称)」が豊田市御船町で稼働する予定で、年間原木取扱量4万5000立方メートルという県内最大の方材という県内最大の製材拠点が誕生する。これに備えて同プロジェクトでは、木材への関心や需要を喚起し、川上の供給者と川下の消費者を結ぶ相談窓口の存在が必要と考へ、新組織設立に至った。

「MAKER WOOD」の2つを設定。前者は天然乾燥の一般材や家具、小物、DIY材などを、後者は中核製材工場で生産された人工乾燥の建築用材を対象としている。




古事記編さん 1300年
神々の國 島根

国産すぎ・ひのきで優れた性能の構造用合板



島根合板株式会社

〒697-1326
島根県浜田市治和町口 895-2
TEL.0855-27-1625
FAX.0855-27-3685
E-mail:shimane@nisshin.gr.jp
URL:http://www.nisshin.gr.jp